



# 腎臓搬送の外部委託について





# 背景

(参考)

2018年3月20日腎臓の小児優先ルールの開始

【腎臓移植希望者選択基準の概要】

20歳未満のドナーからは20歳未満のレシピエントが優先となり、腎臓も全国 SHIPPING となった



腎臓搬送の範囲の変化

地域ブロック内 ⇒ 全国 SHIPPING  
搬送エリア拡大による腎臓移植医やCoの業務負担の増加



日本臨床腎移植学会より要望書が提出



腎臓搬送に向けた臓器搬送体制の再構築を検討



日本臨床腎移植学会

Japanese Society for Clinical Renal Transplantation

藤田医科大学医学部 移植・再生医学講座内  
〒470-1192 愛知県豊田市香坊町田舎2丁目1-98  
TEL & FAX: 0562-93-2013 Email: rinshojin@fujita-hu.ac.jp  
Dept. of Transplantation and Regenerative Medicine,  
Fujita Health University, School of Medicine,  
1-98 Dengakugakubo, Kotsukabe-cho, Toyouke, Aichi 470-1192, JAPAN  
Phone: +81-562-93-2013 Email: rinshojin@fujita-hu.ac.jp

日本臓器移植ネットワーク  
門田 守人 理事長 殿

平成 30 年 8 月 21 日

平素よりお世話になっております。

さて、平成 30 年 3 月 20 日より脳死、心停止下提供の腎臓について、小児(20歳未満)優先の特  
殊が開始されております。小児優先特殊では、全国への腎臓の特殊がされます。  
通常の成人の献腎移植と異なり、県外への臓器搬送にあたって、腎臓抽出チーム、移植チーム、  
コーディネーターの負担が大きくなるが予想されます。

つきましては、腎臓搬送に伴う負担軽減を目的として、運送業者など企業のサポートも含めた対策  
をお願いしたく、ここに要望いたします。

日本臨床腎移植学会 理事長

劍持 敬

劍持 敬



# 腎臓搬送に向けた新たな臓器搬送体制

外部有識者で構成された移植施設委員会やその諮問組織である腎移植部会において協議を行い、腎臓搬送の業務委託の実施を決定。

概要	
搬送企業の選定	全国展開している搬送関連の複数の企業と協議。24時間対応可能、定温輸送のノウハウ、社内の教育体制、調査企業を用いた経営状況の把握など、総合的に判断し、搬送企業を選定。
協議内容	臓器搬送業務の委受託に向け、実務上の課題の明確化と課題解決等の検討など複数回にわたり協議。JOT理事会、移植施設委員会へ適宜報告の上「業務委受託契約書(案)」「覚書(案)」「臓器(腎臓)搬送業務マニュアル(案)」を作成。実際の腎臓搬送業務に同行し、同マニュアルに基づいたシミュレーションを実施。
今後の予定	6月 搬送企業と業務委受託契約を締結予定。 模擬症例によるシミュレーションの実施と最終確認。 7月 業務委託開始。



# 臓器（腎臓）搬送業務連携フローチャート

